

平成22年度 第5回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成22年12月14日(火) 13:30～15:30
- 2 開催場所 小平市立中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 10名(欠席1名)  
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査10名
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料 (1) 平成22年度第4回公民館運営審議会会議要・・・資料1  
(2) 講座企画会議実施報告書・・・資料2  
(3) 仲町公民館・図書館改築に伴う説明会のご案内・・・資料3  
(4) 公共施設予約システムについて・・・資料4  
(5) 平成22年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・資料5  
(6) 東京都公民館連絡協議会あり方検討委員会の報告書について・・・資料6  
(7) 公民館と地域や学校との交流事業について・・・資料7  
(8) 行事等開催報告・・・資料8  
「平成22年度第5回公民館運営審議会館長報告」  
「平成22年度東京都公民館連絡協議会委員部会報告4」
- 6 次第 (1) 開会  
(2) 配布資料の確認  
(3) 館長報告  
(4) 東京都公民館連絡協議会公民館研究大会の報告  
(5) 平成23年度講座企画会議の報告(資料2)  
(6) 仲町公民館・図書館立替工事について(資料3)  
(7) 公共施設予約システムについて(資料4)  
(8) 平成22年度公民館学級・講座の実施状況について(資料5)  
(9) 東京都公民館連絡協議会あり方検討委員会審議報告について(資料6)  
(10) その他  
(11) 閉会

## 会議の概要

### 1 開会

### 2 配布資料の確認

### 3 館長報告

「平成22年度第5回公民館運営審議会館長報告」により、市議会12月定例会が開催された旨の報告をした。

#### (1) 平成21年度小平市一般会計歳入歳出決算の認定について

10月に特別委員会で審査された「平成21年度小平市一般会計歳入歳出決算の認定について」が可決された。公民館に関する質疑はなかった。

#### (2) 公民館の決算概要について

公民館の決算概要について、1により説明した。

#### (3) 一般質問について

公民館に関する一般質問について、2(1)、2(2)により説明した。

#### (4) 請願について

3により、公民館に関する請願が市議会に提出された旨を報告した。請願は総務委員会に付託、7日に審査された。件名は「公民館など公共施設使用料の減免内容見直しについて」で、請願者は八館会会長外3762人、紹介議員は5つの会派から、苗村（生活者ネットワーク）、宮崎（政和会）、石毛（フォーラム小平）、山岸（市議会公明党）、西（日本共産党小平市議団）各議員であった。請願事項は2つあり、審査の結果、採択すべきものとして決定された。本会議最終日に、採択か不採択かが決定される。

#### (5) 事業仕分けについて

事業仕分けについて、4により説明をした。昨年度から実施している事業仕分けにおいて、公民館の事業のうち「中央公民館運営管理事業」ほか、各分館の運営管理事業、あわせて11事業が今年度の仕分け対象となった。9月22日、その仕分け作業が公開で行われ、「市（要改善）」という結果となった。この区分は、この事業は市が実施するが見直す必要があるという意味であるが、今後、事業の見直しや予算編成にあたり最大限活用するものである。

#### (6) 教育委員会委員の任命について

教育委員会委員の任命の件について、5により説明をした。

吉田昌子委員長職務代理者の任期満了による退任に伴い、11月1日の教育委員会臨時会において、荒畑忠弘委員が、委員長職務代理者に選任された。また、新たに山田大輔氏が教育委員会委員として11月1日付けで任命された。任期は11月1日から平成26年10月31日までである。

### 4 東京都公民館連絡協議会公民館研究大会の報告

平成22年12月12日に開催された公民館研究大会の各分科会の参加者数等について報告をした。

第1課題別集会・・・103名応募、最終参加者98名

第2課題別集会・・・63名応募、最終参加者54名

- 第3 課題別集会・・・ 70名応募、最終参加者65名
- 第4 課題別集会・・・ 76名応募、最終参加者64名
- 第5 課題別集会・・・ 60名応募、最終参加者54名

## 5 平成23年度講座企画会議の報告

資料2により説明した。

事務局 育児中の方が外に出て仲間作りをするきっかけになるという声が多くあった。講座の充実を図ることや、間口を広げることにより、公民館の市民の集う場所としての機能をさらに高めていきたい。

委員 講座企画会議という会議の名称をもう少し柔らかい名称にすれば、市民もより来やすいのでは。また、対象とする市民層があるのであれば、直接その方々の意見を聞くべきである。今回は少なかったが、農業や自営業の方々が集うことのできる講座の企画、公民館を目指してもよいのではないか。

委員 公民館の講座が、どこに終着点を置くのか、どこに根付くことを目的とするのかという青写真をもって講座を企画してもらいたい。

委員 公民館を集う場所にすることは重要なことだが、現状、市民にとっては公民館より地域センターの方が親しみがあるのではないだろうか。公民館の弱みと強みを理解しつつ、より市民にとって親しみやすい公民館を目指すことが必要だと思う。

委員 会議の参加者に偏りがあったと思う。参加者の声＝100%市民の声と考えるべきではない。参加者が少なかった要因としては、宣伝不足が挙げられる。市民の意見を聞く貴重な場なのだから、まずは参加者を増やす工夫をするべきである。

## 6 仲町公民館・仲町図書館の建替えについて

基本設計業務の委託業者を、プロポーザル形式で選定した。7月に方針決定後、7月15日～8月2日の期間に基本設計事業者を募集したところ、38社の応募があった。そのうち35社から提案書類の提出があり、9月17日に第1次審査を行った。業務実績、実施体制、提案書の内容、見積案を総合的に審査した結果、6社まで選定した。9月29日に第2次審査においてプレゼンテーションおよびヒアリングを行い、事業者の取り組み意欲、事業内容の理解度、提案の的確性、創造性、実現性を総合的に評価した結果、株式会社妹島和代設計事務所を選定した。また、資料3のとおり、住民説明会を開催する。

## 7 公共施設予約システムについて

資料4より説明した。

## 8 平成22年度公民館学級・講座の実施状況について

資料5より説明した。

9 東京都公民館連絡協議会あり方検討委員会審議報告について

資料6より説明した。

10 行事等開催報告について

資料8により、公民館まつり等行事開催についての報告をした。

11 その他

(1) 資料7より、公民館と地域や学校との交流事業について報告した。

会 長 学校側からは、公民館との連携についてどう考えているか。

委 員 連携自体は望ましいが、立地によっては難しい場合もある。

事務局 公民館は、子供たちに発表の場を提供することができる。また、子供たちと関わることは、公民館に多くの方々が来るきっかけにもなる。公民館まつりから、地域のまつりへシフトしていきたい。

(2) 東京都公民館連絡協議会委員部会報告について

資料「平成22年度東京都公民館連絡協議会委員部会報告4」より報告があった。

(3) 研修会について

公民館運営審議会委員研修、八館会の研修について、報告があった。

(8) 閉会

次回は、1月11日(火) 13:30から開催する。